

3病棟 秋の実り

南国病院本館3F
食堂ホールにて



3病棟看護師長 井土 芳恵
 今年は少し長い残暑も感じつつ、早くも10月末となりました。先日、認知症高齢者の看護についての研修で「リアリティ・オリエンテーション」という言葉を学びました。「リアリティ・オリエンテーション」とは、現実認識を明確にするための心理療法で、自分は誰で、今日は何年・何月何曜日、ここはどこで、今何をしているのか、などの情報を繰り返し確認して認識することにより、認知機能の強化を図るものです。現実認識の方法として、毎日自分たちが当たり前前に感じている季節の移り変わりを、患者さんに少しでも感じて頂けるよう、**病棟の食堂には秋の実り、花**が飾られています。毎回素敵な作品を手作りしてくれているスタッフのみんなに感謝しています！

通所リハビリ テーション室 夏から秋へ

在宅医療支援
センター2F

栄養部より 美味しい 行事食の紹介



「敬老の日」

長寿を願って、献立に赤飯と紅白まんじゅうをつけました！
 栄養士 野村 和加



通所リハビリテーション室室長 中川 圭子
 今年の夏は例年以上に、湿度も気温も高く感じる厳しい季節でした。それを吹き飛ばそうと**8月24日夏祭り**を開催いたしました。キーワードは涼しさと懐かしさ。涼しさは本格的なかき氷機をスタッフが調達、ふわふわのかき氷に何種類かの蜜から選択。懐かしさはお菓子をさおと糸で釣る「宝釣り」。手作りのたこ焼きを提供。もぐらたたき風に折り紙で作った「風船割り」、そして炭坑節の踊りなど、約50分の間に盛りだくさんのメニューをハッピーや浴衣姿のスタッフが提供させて頂きました。普段はマシンリハビリや体操、個別訓練に精を出して頂いているご利用者様には普段と違う雰囲気を楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

9月には壁飾りはお月見に変わり、10月にはコスモスへと季節と共に変化しています。利用者



様にご協力頂くことで毎月、定期的に味のある壁飾りができています。今後とも利用者様が楽しいと感じて頂ける通所リハビリテーションになるようにスタッフ一同力を合わせてまいります。よろしくお願いいたします。

**第1回
高知県精神保健福祉
バリアフリー
フェスティバル大会
高知県民体育館
H28.9.30 (金)**

主催：高知県精神保健福祉協会
 参加施設：一陽病院 海辺の杜ホスピタル 高知鏡川病院
 インテグレーション 同仁病院 南国病院
 あけぼの 土佐病院 藤戸病院 愛幸病院
 芸西病院 施設連合



精神科デイケア室主任 精神保健福祉士 竹村 哲也

昨年で終えたソフトボール大会に代わるイベントとして「バリアフリーフェスティバル大会」を実行委員の方々が企画してくれました。

その名の通り、本大会は「安全」「老若男女問わず参加できる」「みんなで

一緒に」を目的に実施されました。以前なら見学していた60~70代のメンバーも競技に加わり、赤白に分れて盛り上がりました。競技内容は借り物競走、じゃんけん列車、玉入れ、クイズ、パン食い競争などがあり、当日デイケアに参加したほぼ全員が出場しました。玉入れは年配の方が楽しみ、パン食い競争では他を圧倒するほど早くゴールされていました。

応援席では同じ赤組の他施設と交流をもつメンバーがいたり、施設対抗とは違った良さが見られた。また職員対抗パン

食い競争やリレーもおこなわれ、一生懸命なスタッフの姿に喜びや笑いがあつたりと、メンバーにとって楽しく思い出に残る素晴らしい1日でした。



赤組	白組
260	235

精神科デイケア室メンバー

K・Yさんより

赤と白に分れての試合。

逆転で赤組の勝利。

とてもおもしろかった。

これからも、このようなことを

やっていって下さい。

おもしろかったので

とても感謝しています。